

エリアサポート体制による みやざきの特別支援教育の推進

エリアサポート体制構築以前の特別支援教育の課題

- 特別支援教育の対象となる幼児児童生徒の増加
 - ⇒ 特別支援教育を担当する教員の専門性の向上
 - ⇒ 教育的ニーズのある幼児児童生徒への対応のばらつき
- 関係機関となり得るリソースの数の地域間の格差
- 個別の教育支援計画の作成及び活用
- 特別支援学校のセンター的機能へのニーズの増大
- 特別支援学校のセンター的機能では対応が難しいニーズの高まり
 - (例) 発達障がいのある児童生徒に対する教科指導の工夫の在り方など

エリアサポート体制の目的

発達障がいを含むすべての障がいのある子どもの多様な学びに対応するため、幼稚園・保育所等、小・中・高等学校等それぞれの校内支援体制の充実、及びそれらをつなぐ一貫した地域支援体制の構築を図る。

エリアサポート体制のイメージ

障がい保健福祉圏域
に準じて7つのエリア
に分割



障害者就業・生活
支援センター

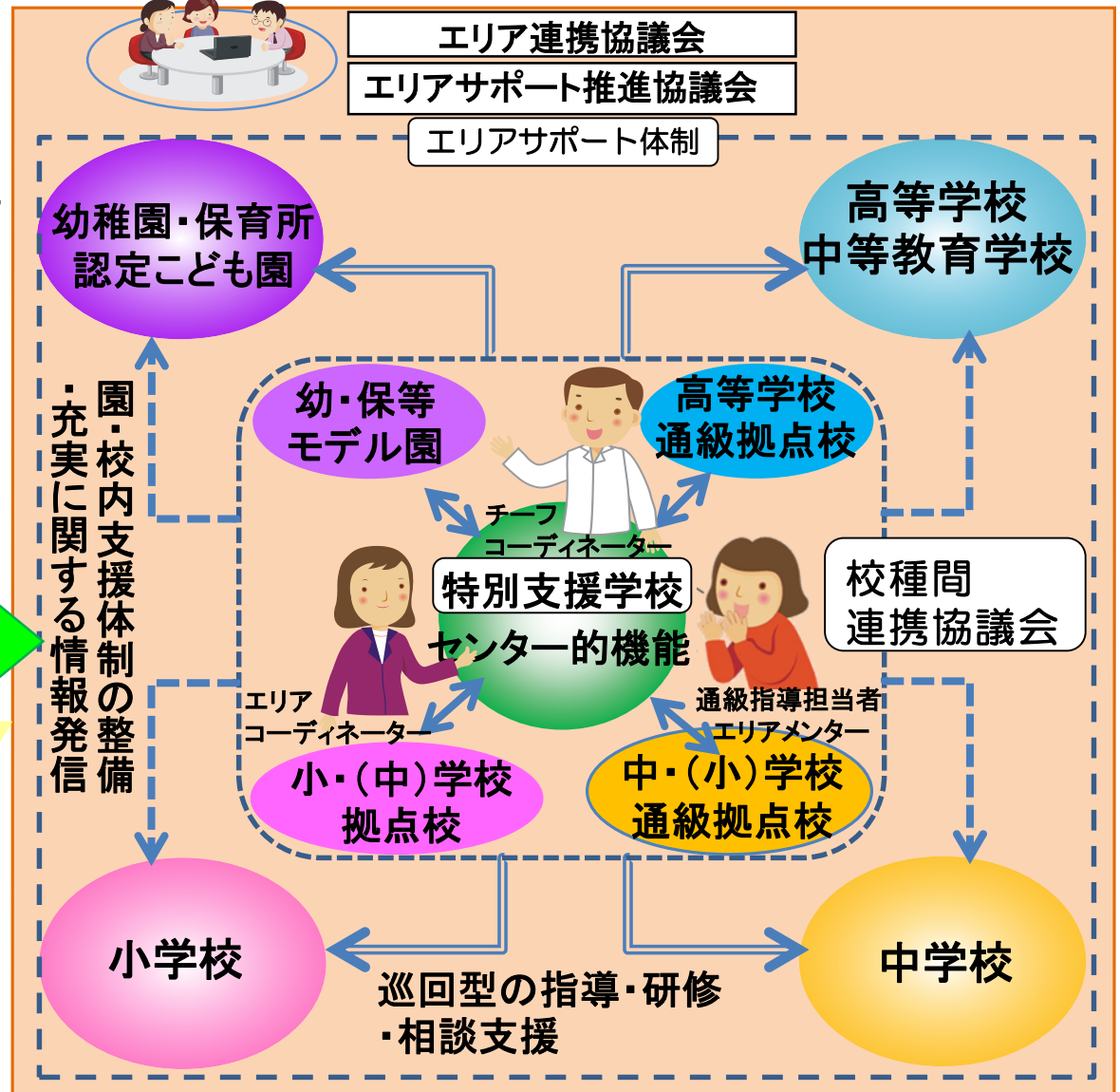
保健所等
保健関係機関

医療機関

児童相談所等
福祉関係機関

広域エリアサポートチーム

教育事務所ごとに編成された、医師や
臨床心理士などの専門家のチーム



エリアサポート体制の構成

特別支援
教育課

エリア連携協議会

エリアサポート推進協議会

作業部会

専門家
チーム

教育
事務所

教育研
修セン
ター

特別支
援学校

市町村
教育
委員会

拠点校

関係
機関

エリア巡回支援

エリア研修

幼稚園・
保育所等

小学校

中学校

高等学校等

特別支援学校

エリアサポート体制の構成

協議会等（構成：開催予定回数）

エリア連携協議会

（関係行政機関等の代表者等：年間1回）

エリアサポート推進協議会及び作業部会

（教育行政及び関係機関代表者等：年間2回）

〔作業部会：担当指導主事、チーフコーディネーター、エリアコーディネーター、エリアメンター等〕

エリア内校種間連携協議会 （令和2年度よりエリアサポート推進協議会作業部会に統合）

（各校種のコーディネーター等：年間3回程度）

エリアサポート体制の中心となる取組

エリア巡回支援

校内支援体制充実支援・指導充実支援・校内研修支援

(指導主事や各コーディネーターによる巡回相談)

(内容)・校内支援体制の充実を図るための助言

・児童生徒等への支援に関する助言

・各学校等のニーズに応じた職員研修などへの協力

困難事例支援

- ・各コーディネーターが協力して支援の検討を行う
- ・必要に応じて、専門家チームの派遣を要請する

エリアサポート体制の中心となる取組

エリア研修

専門性向上研修(特別支援教育担当者対象)

- (内容の例)
- ・ 児童・生徒の感情に着目した自立活動の在り方
 - ・ ICT活用の在り方
 - ・ 関係機関と学校との効果的な連携の在り方

指導力向上研修(通常の学級担任など全ての教職員対象)

- (内容の例)
- ・ 発達障がい等障がいのある子供に対する具体的な支援の在り方
 - ・ 「個別の教育支援計画」の作成と活用の在り方
 - ・ 校内支援体制の構築と関係機関との連携の在り方

主な成果

- 教育的ニーズのある幼児児童生徒等に対する理解の深まりと指導の専門性の向上
- 県内各地域間での情報の共有及び普及の促進
- 地域間、学校間における対応（指導）の差の緩和
- 個別の教育支援計画の作成の促進
- 幼稚園・保育所、小・中・高等学校、特別支援学校間の相互理解の促進及び連携の強化

新たな課題

- 通常の学級の教員の指導力の向上（授業改善）
- 通級による指導の担当教員の専門性の向上
- 特別支援学級の担当教員の専門性の向上
- 学校における合理的配慮の提供のプロセスの定着
- 個別の教育支援計画の機能の向上（活用の促進）